

当月のS&P MLP 指数の動き

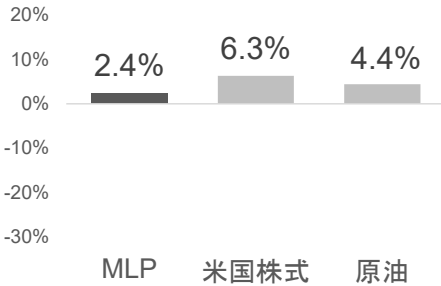
7月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+2.2%と3ヵ月連続での上昇となりました。

上旬は、米中関係の改善や通商協議進展への期待などを背景に、米国株式は堅調に推移したものの、MLPは小幅な値動きにとどまりました。しかしながら、下旬は、米中の通商協議の進展期待や米EU(欧州連合)の通商協議の合意、そして、米ハイテク企業の決算発表などを受けて、米主要株価指数が最高値を更新する中、MLPも上昇基調となりました。

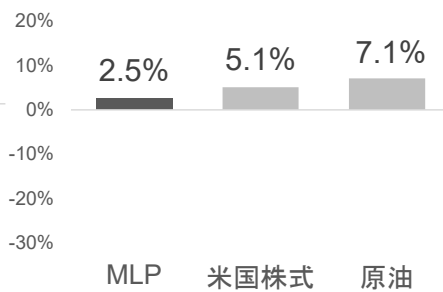
過去3ヵ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

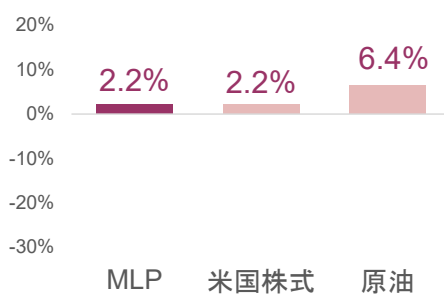
2025年5月



2025年6月



2025年7月



MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3ヵ月前月末	前年末	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比
2025/7/31							
2025/6/30							
2025/4/30							
2024/12/31							
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	10,105.19	9,883.41	9,410.99	9,363.36	2.2%	7.4%	7.9%
ブライ斯拉ターン	1,819.18	1,787.88	1,729.80	1,759.87	1.8%	5.2%	3.4%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	14,020.46	13,712.71	12,276.39	12,911.82	2.2%	14.2%	8.6%
ブライ斯拉ターン	6,339.39	6,204.95	5,569.06	5,881.63	2.2%	13.8%	7.8%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,556.85	1,512.64	1,428.53	1,501.02	2.9%	9.0%	3.7%
ブライ斯拉ターン	666.91	648.68	617.47	654.85	2.8%	8.0%	1.8%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,810.73	1,824.75	1,796.68	1,828.72	-0.8%	0.8%	-1.0%
ブライ斯拉ターン	342.27	345.37	343.10	353.27	-0.9%	-0.2%	-3.1%
米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,806.24	1,799.02	1,737.03	1,720.74	0.4%	4.0%	5.0%
ブライ斯拉ターン	69.96	70.07	68.39	69.26	-0.1%	2.3%	1.0%
米国10年国債利回り							
	4.37%	4.23%	4.16%	4.57%	0.14	0.21	-0.20
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	69.26	65.11	58.21	71.72	6.4%	19.0%	-3.4%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	3.11	3.46	3.33	3.63	-10.1%	-6.6%	-14.5%
米ドル(対円)							
	150.75	144.03	143.07	157.20	4.7%	5.4%	-4.1%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

- 2日、イランがIAEA(国際原子力機関)との協力を一時停止する法律を施行したことを受け、中東情勢の緊張が高まる可能性が意識され、原油先物が大きく上昇した。
- トランプ米大統領は10日、8月1日からカナダに35%の関税を適用すると明らかにした。また、EUに対して関税率を一両日中に通知するとしたほか、通知を受けていない大多数の貿易相手国には15%ないし20%の関税を一律に課す計画だと述べた。欧州では、ECB(欧州中央銀行)のシュナールベル理事が9日のインタビューで、ECBによる追加利下げには大幅なインフレ率の鈍化が必要であり、ハードルは極めて高いと述べた。11日には、米関税政策を巡る不透明感や利益確定売りなどから、欧米株式が下落したほか、原油先物は、米国での夏の行楽シーズン入りに伴う燃料需要の増加期待などから反発した。
- 14日、トランプ大統領は、ウクライナ侵攻を続けるロシアが50日以内に停戦に合意しない場合、ロシア産の石油・ガスなどを購入した第三国に100%の関税を課す、「2次関税」を実施すると表明した。また、ウクライナへの武器供与を続ける意向を示した。ただし、原油先物は、ロシアに関する重大な発表をするとの予告を受けて前週末にかけ上昇していたため、反落した。
- 30日、米国では、FRB(連邦準備制度理事会)が政策金利の据え置きをFOMC(連邦公開市場委員会)で決定した。声明では、経済活動についての評価が下方修正されたが、パウエルFRB議長は会見で、次回9月の会合について、何の決定もしていないと述べた。原油先物は、トランプ大統領が前日、ウクライナ侵攻を続けるロシアが8月8日までに停戦に合意しない場合、追加制裁を科すと表明したことなどを受け、買われた。

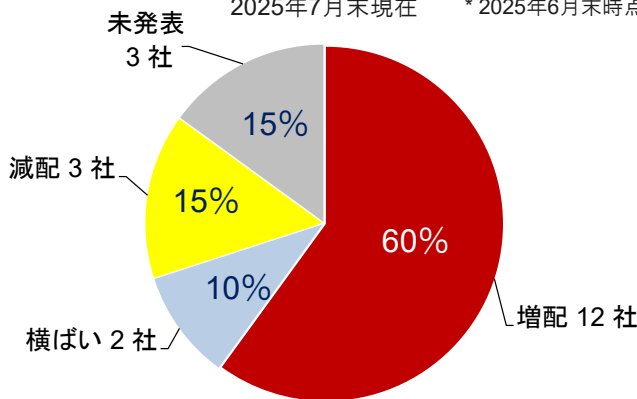
今後の注目点

- 2025年4-6月期のMLPの決算発表が注目される。

MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。7月から公表が始まっているMLPの2025年4-6月期の分配金は、指数構成銘柄(20銘柄、2025年6月末時点)のうち、**17社の発表が終了しており、前年同期比での増配が12社、横ばいが2社、減配が3社**となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄*の分配金額(前年同期比)の動向>
2025年7月末現在 * 2025年6月末時点



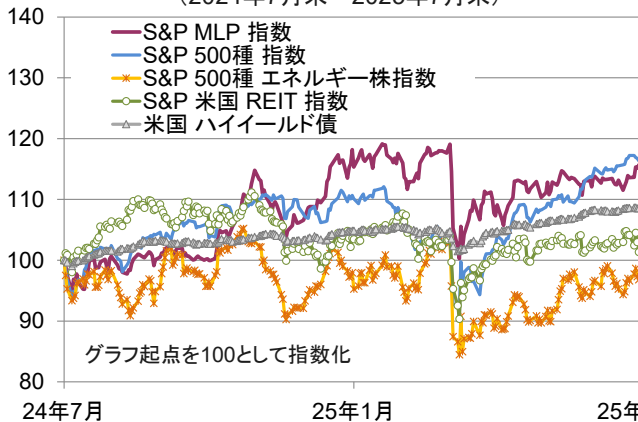
※ 左記の数値は四捨五入の
関係で合計が100%と
ならないことがあります。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■過去1年の指数の推移（米ドルベース／トータルリターン）

(2024年7月末～2025年7月末)

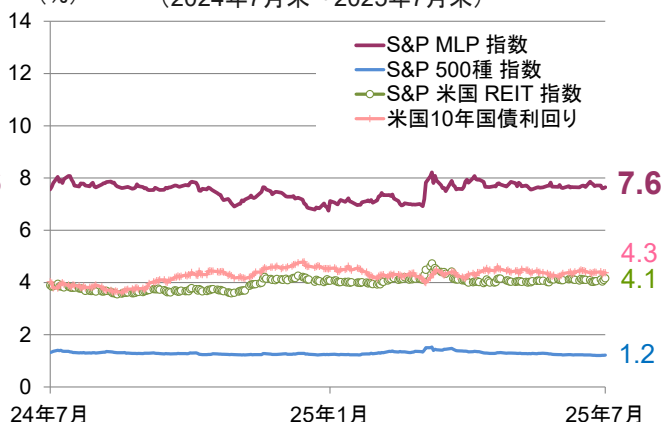


※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

■過去1年の各資産の利回り

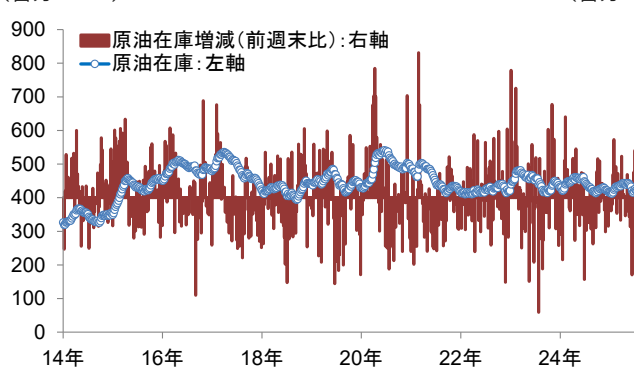
(2024年7月末～2025年7月末)



■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2025年7月第4週末)

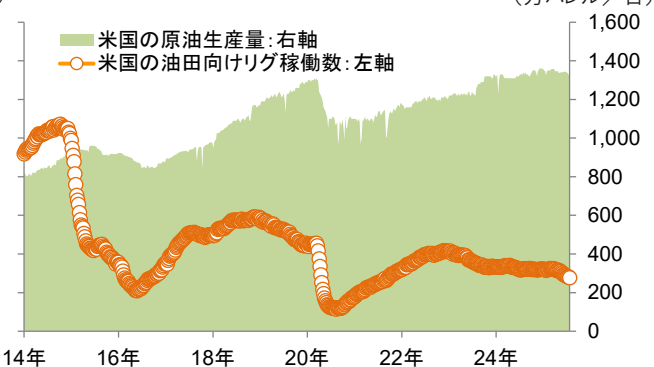
(百万バレル)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2025年7月第4週末)

(百万バレル) (基)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和と懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2025年7月末)

米ドル (ポイント)

高
↑
↓
安

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。